

今こそ…ガス



ご家庭で目にするガスの青い火。
実は世界に通じているんです。

2回にわたってガス供給事業の歴史と現状、そして世界情勢が密接にかかわる都市ガスの原料についてお伝えしました。今回は原料がにかほ市に運ばれてからご家庭に届くまでをお伝えします。

1 都市ガスはどのように作られているの？

にかほ市では都市ガスの原料としてマレーシア産のLNG（液化天然ガス）を購入しています。LNGはタンカーで輸送されて新潟に運ばれます。そこからタンクローリーによって液体のままにかほ市まで運ばれます。

金浦臨海工業団地内の都市ガス製造所に運ばれたLNGは気化器により気体になります。この気化したガスにプロパンガスを混入し、11,000カロリーの熱量に調整します。意外な事にこの時点では

ガスは無臭です。しかし、ガスが漏れたりした場合は、すぐに気がつくようにガスに独特の刺激ある臭いを付けています。

2 どのように家庭に届く？

こうしてできたガスは製造所から国道7号に沿って埋設されているガス管により仁賀保・金浦・象潟の各供給所に送られます。製造所から供給所まで伸びている管は輸送導管といって、人間でいえば大動脈のような役割を担っています。製造所から送り出されたガスは供給所にあるガスホルダーに貯蔵されます。ガスホルダーは一日の間で使用量の少ないときにガスを貯え、使用量が多いときはそれに応じて送り出し、常に安定的にガスが供給できるようにする機能を持っています。そのため製造所や供給所では24時間体制で需給状況を

監視しています。ガスホルダーに貯蔵されたガスは市内中に埋設されているガス管を通じて供給されます。その長さは約160kmにもなります。その管からガスメーターを通り、各家庭に到着したガスはガス器具を通して青い火や、熱いお湯になって、皆さんがいつでも快適に生活できるようお手伝いをしています。



3 万全の安全管理

ガス水道局では、ガスの需給状況を常に把握する他、供給の圧力に変化がないか、また需要量と供給量のバランスがくずれしていないかなどを見定め、安定的に供給できるように、日々の業務を行っています。また、各施設では日々の点検に加え、定期的に詳しい検査を行い、古くなったガス管については地震に強い、腐食しない管に積極的に入替工事を行います。また各家庭の保安についても、法律に基づき3年に1回の訪問によるガス設備点検を行っています。このような業務を通じてガスをより安全に使用していただけるように保安の確保を図っています。



4 販路拡大のために

ガスの販路拡大のために様々なガス機器も販売しています。最新のガス器具は高い安全性に加え、高い環境性を誇ります。天ぷら火災防止機能付きのガステールや、ガスを利用して発電し、二酸化炭素の発生を大幅に削減する器具なども登場しています。

また年に一度、このような器具を展示・即売する場「ガス器具展」は、皆さんにとって待ち遠しい催しとなっています。10月に開催した今年度の器具展は、都市ガスが見直され始めた兆しが見え、多くの市民の方々が訪れました。

そしてもちろん販売のみならず、アフターサービスも万全で、取付・修理も行っており、「まちのガス屋さん」として常にご家庭の身近な存在でありたいと考えています。

年々減り続ける需要家、原料に対する世界的動向等、ガス事業の経営は大変厳しいものがありますが、にかほ市でのガス事業開始の意義と、エネルギー供給業者としての立場を考えると、その役割は依然として重要なことになりつつあります。その使命を担って今日もガスをお届けします。

現在、ガス水道局では熱量変更事業終了から5年経過することから、経済産業省の通達に基づき、改めてガス料金の総原価を見直し、11月1日付けで東北経済産業局と料金改定の協議を進めております。

問合先 ガス水道局
☎ 37・3131

